

# よりそう

Side by Side



2011.10.15(土)

第100号

編集責任: ナカムラ

編集担当: オブチ

よりそう: イシイ

## 祝・よりそう100号！！

100号発刊を讃える<寄稿>

初代編集長 三好 惇二



遠野まごころネット・ボランティアニュース「よりそう」が100号を迎えた。

創刊号を出した時は、全国から来られるボランティアの方々の相互交流を図る、ひいては被災者の方々への心配り、活動の源になればいいなあという軽い気持ちだった。

100号まで続けられたのは、まず読者であるボランティアの皆さん方の支持、歴代十四名の編集長の皆さん、それを援助された四十名近い編集委員の方々の尽力、さらに毎号ネットに載せて下さった事務局のWEB担当の方々のご協力によるものだ。私は、キッカケを作っただけだ。

今や「よりそう」は、私の思いをはるかに越えた所に位置する。ある意味、遠野まごころネットの諸活動(大槌・釜石・陸前高田における瓦礫撤去のハード面と、仮設住宅での活動・復耕支援隊等のソフト面)と並んで、遠野まごころネットをシンボライズする所まで来ているように感じる。

例えば、初めて来られる方で、「よりそう」を

ネットで読んで来ることを決めました、という声。学生を引率して来られた大学准教授の方の、「講義の資料に使いたい」という声。二回目に遠野へ来られた方々が「ネットで“よりそう”を読むのが楽しみだった」という声。ネットで読んだのだが「一度でも遠野まごころネットへ来られた人に“よりそう”を自宅まで配信しようという事務局提案があった」との事。伝聞だが、遠野まごころネットの正史を作る時、事務局会議レジメを正資料に、「よりそう」を副資料に使おう、という声が運営にあたっておられる方々にある、という話もあったとか。

私は、今、ここまで重要視されるようになった「よりそう」の存在にただただ驚くと同時に今後も編集長が出てこられる事を期待している。そして、気楽に作成してほしい。

今回は10月中旬、5回目の活動のため遠野へ行く予定である。(10月14日に到着されました！)  
<「よりそう」編集に携わったひとたち>(敬称略)

三好、紺野、安齋、古里、高橋、宮澤、牧、山根、半田、井上、西浦(イラスト)、水野、若林、鈴木、村重、板橋、古川、原田、別府、小泉、辻、南、久保田、小迫、増田、富松、森田、荒木、金野、筒井、星野(ペコ)、吉田、阿部、岩田、村井、坂本、大西、新谷、Y・S(マンガ)、村林、進谷、市川、延藤、永田、安倍、遠藤、山田、高早、高平、大岩、徳野、富岡、よしほ、吉田、しみずみちこ、坂本、吉田、横田、大脇、RINC、絢子(イラスト)、Steve(イラスト)、大淵、中村 [ 記載がもれている方いらっしゃったら申し訳ありません ]

ボランティアに参加、投稿、インタビューに応じてくださった皆様、遠野社協、まごころネット事務局、内勤の皆様、岩手、遠野の皆様はこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。

10/15(土) 活動人数 231人 宿泊人数 72人

10/16(日)の天気くもり時々雨 気温10-18℃ 降水確率70%

編集後記 ついに三好さんが編集部に戻って下さりました!! 100号はパンジーまつりです。

投稿者三好 惇二 今日こんなことがあった+「面白いを見つけた」は嬉しい。一行から帰って来ます。よほど面白いはず。